

## TOOLS for MR V1.5.1 for Macintosh

---

TOOLS for MR V1.5.1 for Macintosh は以下のプログラムで構成されています。

- Yamaha Steinberg FW Driver V1.5.1
- Steinberg MR Editor V1.5.1
- Steinberg MR Extension V1.5.1

### 主なアップデートの内容

#### V1.5.0 → V1.5.1

- TOOLS for MR が Mac OS X 10.6 で動作することを確認しました。

その他の主なアップデート内容については、以下にプログラム別で説明します。

#### Yamaha Steinberg FW Driver

V1.5.0 → V1.5.1

- 軽微な不具合を修正しました。

#### Steinberg MR Editor

V1.5.0 → V1.5.1

- 軽微な不具合を修正しました。

#### Steinberg MR Extension

V1.5.0 → V1.5.1

- ダイレクトモニタリングがオンのときに、オーディオトラックのモニタリングボタンのオン/オフを切り替えると、切り替わるタイミングがオーディオ出力ごとにずれる問題を修正しました。

### 過去のアップデートの内容

#### V1.2.0 → V1.5.0

#### Yamaha Steinberg FW Driver

V1.1.0 → V1.5.0

- Yamaha Steinberg FW Driver のインストールが完了した直後に、「システム環境設定」から Yamaha Steinberg FW Driver のコントロールパネルが開かないことがある不具合を修正しました。
- PowerPC 搭載の Macintosh を使用している場合、接続している MR816 CSX/MR816 X の電源をオフにすると、Yamaha Steinberg FW Driver の CPU 使用率が高くなる不具合を修正しま

した。

## **Steinberg MR Editor**

V1.2.0 → V1.5.0

- MR Editor の Scene に保存されるパラメーターに、次の 4 つを追加しました。
  - ・ ソロ
  - ・ Digital I/O, External FX
  - ・ Sweet Spot Morphing Ch. Strip
  - ・ External FX Type

## **Steinberg MR Extension**

V1.2.0 → V1.5.0

- Hardware Setup 画面が新しくなりました。主な変更点は次のとおりです。
  - ・ 「Master Levels」タブを追加しました。ここでは、アナログ/デジタルそれぞれのマスターレベルをコントロールできます。
  - ・ 「Settings」タブを追加しました。ここでは、デジタルオーディオ信号を入出力する端子を選択したり、Sweet Spot Morphing Channel Strip エフェクトを挿入するチャンネルを選択したりできます。
  - ・ レベルを調整するパラメーターを、キーボード上の[Ctrl]/[command]キーを押しながらクリックすることで、ノミナル(0.00dB)に設定できるようになりました。
  - ・ レベルの表示を「dB」に変更しました。
- Rev-X の任意のパラメーターを、キーボード上の[Ctrl]/[command]キーを押しながらクリックしたときに、正しい初期値が設定されない不具合を修正しました。
- Cubase のプロジェクトファイルを開いたときに、プロジェクトファイルに保存された Reverb のパラメーターが正しく復元されないことがある不具合を修正しました。
- Yamaha Steinberg FW Driver のコントロールパネルで、「Sweet Spot Morphing Ch. Strip」を「Digital Input」に設定しているときに、Cubase のミキサーに表示される MR816CSX/MR816X 入力設定画面の「+48V」/「PAD」インジケーターが正しく表示されない不具合を修正しました。
- MR816 CSX/MR816 X 本体のサンプリング周波数と Cubase のプロジェクトファイルのサンプリング周波数が異なる状態でプロジェクトファイルを開いたときに、サンプリング周波数や Digital I/O, External FX などの設定が正しく切り替わらないことがある不具合を修正しました。
- Cubase のプロジェクトファイルを開いたときに、MR816CSX/MR816X 入力設定画面の設定が正しく切り替わらないことがある不具合を修正しました。
- 複数の MR816 CSX/MR816 X を接続したときに、使用できないオーディオポートが表示されることがある不具合を修正しました。
- 複数の MR816 CSX/MR816 X を接続して Rev-X を使用しているときに、1 台の接続を外すとも

う 1 台の Rev-X の設定がリセットされることがある不具合を修正しました。

- Cubase が強制終了したときに、コンピューターを再起動しなければ連携機能が使用できないことがある不具合を修正しました。
- Sweet Spot Morphing Channel Strip および Rev-X の VST プラグイン画面で、VST プリセットが表示されない不具合を修正しました。
- Sweet Spot Morphing Channel Strip を VST プラグインとして使用しているときに、オートメーションが自動で書き込まれてしまうことがある問題を修正しました。
- MR816CSX/MR816X 入力設定画面と Sweet Spot Morphing Channel Strip や Rev-X などの画面の間で、各エフェクトのパラメーターの表示値が異なる不具合を修正しました。
- その他軽微な不具合を修正しました。

### **V1.1.0 → V1.2.0**

- Cubase 5 に対応しました。
- Yamaha n8/n12 に対応しました。
- Yamaha Steinberg FW Driverを削除する場合は、MR816 CSX/MR816 X セットアップガイドの「ソフトウェアのアンインストール」に記載しているファイルのほかに、次のファイルも起動ディスクから削除してください。  
/ライブラリ/Audio/MIDI Devices/Yamaha/Images/  
FW\_10000D.tiff  
FW\_10000E.tiff
- Intel 製プロセッサを搭載した機種種の動作環境を、Mac OS X 10.4.9 以降に変更しました。  
10.4.8 以前のバージョンをお使いの場合は、10.4.9 以降にアップデートしてください。

その他の主なアップデート内容については、以下にプログラム別で説明します。

#### **Yamaha Steinberg FW Driver**

##### **V1.0.0 → V1.1.0**

- Intel製プロセッサを搭載した機種において、4GB以上のメモリーを使用する環境に対応しました。
- 複数台のMR816 CSX/MR816 Xの接続または取り外しを行なうと、Yamaha Steinberg FW Driverのコントロールパネル上に機器の情報が正しく表示されない不具合を修正しました。

#### **Steinberg MR Editor**

##### **V1.1.0 → V1.2.0**

- 軽微な不具合を修正しました。

## Steinberg MR Extension

V1.1.0 → V1.2.0

- Sweet Spot Morphing Channel Strip (以下「Channel Strip」)の設定画面を最小化にしたまま、VST コネクション画面で入力バスのプリセット設定を読み込むと、Cubase が異常終了する不具合を修正しました。
- Channel Strip の設定画面の MORPH ノブと MR816 CSX の「MORPH」を設定したマルチファンクションエンコーダーノブを同時に操作すると、Cubase が異常終了することがある不具合を修正しました。
- 再生中に「Digital I/O, External FX」の設定を切り替えると音が出なくなることがある不具合を修正しました。
- 「Digital I/O, External FX」の設定を切り替えると MR816 CSX/MR816 X Hardware Setup 画面のヘッドフォン端子 1/2 のモニターソースの設定がリセットされることがある不具合を修正しました。
- サンプリング周波数または「Digital I/O, External FX」の設定が現在の設定と異なるプロジェクトファイルに切り替えた場合、MR816 CSX/MR816 X 入力設定画面が正常に表示されなくなることがある不具合を修正しました。
- プロジェクトファイルを切り替えた場合、MR816 CSX/MR816 X のヘッドフォン端子 1/2 から出力される信号として設定されたバスが切り替わらないことがある不具合を修正しました。
- VST コネクション画面のバスの変更が MR816 CSX/MR816 X Hardware Setup 画面のヘッドフォン端子 1/2 のモニターソースの設定値に反映されないことがある不具合を修正しました。
- VST コネクション画面で入力バスのプリセット設定を読み込んだ場合、MR816 CSX/MR816 X 入力設定画面が表示されないことがある不具合を修正しました。
- VST コネクション画面で出力バスを設定しても MR816 CSX/MR816 X Hardware Setup 画面の REV-X のリターンレベルのノブが表示されないことがある不具合を修正しました。
- MR816 CSX/MR816 X Hardware Setup 画面上でリバーブタイプを変更できないことがある不具合を修正しました。
- Yamaha MOTIF XS などの Yamaha Steinberg FW Driver に対応した機器と MR816 CSX/MR816 X をデジチェーン接続した場合、接続する順番によって Cubase との連携機能が正常に動作しない不具合を修正しました。
- MR816 CSX/MR816 X 入力設定画面と REV-X/Channel Strip の設定画面にある同一パラメーターを、ショートカット操作([Ctrl]キーを押しながら該当パラメーターをクリック)によって初期値に設定した場合、設定値が各画面で異なることがある不具合を修正しました。
- ダイレクトモニタリングをオンにしている場合に、トラックのモニタリングボタンをオンにして再生すると、一瞬音が途切れる不具合を修正しました。
- その他の軽微な不具合を修正しました。

## **V1.0.0 → V1.1.0**

### **Steinberg MR Editor**

#### **V1.0.0 → V1.1.0**

- Channel Strip の Morph パラメーターと Sweet Spot Data が VST プリセットデータとして保存される仕様に変更しました。
- ヘッドフォン端子から出力される信号としていずれかの出力信号が常に割り当てられている仕様に変更しました。
- REV-X のスライダーにマウスポインターを合わせると、パラメーター値が表示される仕様に変更しました。
- その他の軽微な不具合を修正しました。

### **Steinberg MR Extension**

#### **V1.0.0 → V1.1.0**

- Cubase との連携機能を追加しました。

# 詳しくは、ダウンロードしたファイルに収録されている MR816 CSX/MR816 X オペレーションマニュアル(PDF)をご参照ください。